

平成 25 年 9 月 10 日

各 位

会 社 名 : 株 式 会 社 C D G
代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 藤 井 勝 典
(コード 2487・東証 JASDAQ)
問 合 せ 先 : 専 務 取 締 役 大 平 孝
電 話 番 号 : 0 6 - 6 1 3 3 - 5 2 0 0

簡易株式交換による株式会社ゴールドボンドの完全子会社化に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 25 年 10 月 1 日を効力発生日として、当社を完全親会社、株式会社ゴールドボンド（以下「ゴールドボンド」という）を完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」という）を行うことを決議し、株式交換契約を締結することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本株式交換は、直前事業年度末日において、完全子会社となるゴールドボンドの総資産額及び売上高の規模等を鑑み、開示事項・内容を一部省略して開示しています。また、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づき、当社は株主総会の承認を受けない簡易株式交換として行う予定です。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

当社は、企業が販売促進を図るために行うセールスプロモーション活動の中で使用するセールスプロモーショングッズの企画及び販売を中心として、POP 分野、WEB 関連、イベントなどにも対応できるよう機能拡充を図り、顧客企業の営業上の課題に対応するマーケティング会社としてのサービスを展開してまいりました。

一方、ゴールドボンドは地域の中小メーカー及び各地域の行政・公的支援機関等の依頼を受け、「地域活性化」の為に地域資源を使った産品開発、販路選択、セールスプロモーション企画、ブランディング構築などの支援業務を一貫的に行い、各商材に適した専門家を提供する販路コーディネート事業を中心に、販路開拓、営業支援事業を行ってまいりました。この地域活性化のための支援事業においては、マーケティング強化支援、ブランディング構築支援、販路開拓支援等がありますが、それぞれ得意な支援分野に特化する企業が多い中、ゴールドボンドは各支援分野に精通した専門家ネットワークを有することで包括的支援が可能となっており、支援民間企業として希少な存在となっております。

今回、当社の今後の成長を加速するため、地域の中小メーカー支援のための高い専門的知識を有するゴールドボンドの株式を取得し、連結子会社化することとしました。

当社の今後の事業展開において、幅広い業種・業容の豊富な顧客へ多種多様なセールスプロモーション活動を支援してきた当社の実績に、地域の中小メーカー及び各地域の行政・公的支援機関等の依頼を受け、「売れるモノづくり」、「売れる仕組みづくり」を実践的に支援してきたゴールドボンドの専門的知識を有機的に結びつけることで、これまでのセールスプロモーション活動の支援範囲を地域活性化施策にも拡大させ、更なる業容拡大及び企業価値向上を目指してまいります。

2. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程

取締役会決議日	平成25年9月10日(両社)
契約締結日	平成25年9月10日(両社)
契約締結書承認株主総会	平成25年9月10日(ゴールドボンド)
株式交換予定日(効力発生日)	平成25年10月1日

(注) 当社は、会社法第796条第3項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により、株主総会の承認を得ずに本株式交換を行う予定です。

(2) 株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社、ゴールドボンドを株式交換完全子会社とする株式交換です。

(3) 株式交換に係る割当ての内容

	株式会社 CDG (株式交換完全親会社)	株式会社ゴールドボンド (株式交換完全子会社)
株式交換に係る 割当ての内容	1	126

(注1) 株式の割当比率

ゴールドボンドの普通株式1株に対して、当社の普通株式126株を割当て交付します。

(注2) 株式交換による交付する株式数

当社は、本株式交換により、当社の普通株式25,200株を交付いたします。なお、交付する全株式については、当社は新株式の発行は行わず、当社の保有する自己株式を交付します。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

ゴールドボンドは、新株予約権及び新株予約権付社債を発行していません。

3. 株式交換に係る割当ての内容の根拠等

(1) 株式交換に係る割当ての内容の算定の考え方

当社は、本株式交換の株式交換比率算定に当たって、その公正性と妥当性を確保するため、当社及びゴールドボンドから独立した第三者算定機関である仰星監査法人に本株式交換比率の算定を依頼しました。

仰星監査法人は、当社の株式価値については上場会社であることを勘案し市場株価方式により、ゴールドボンドの株式価値については非上場会社であることを勘案し、DCF(ディスカунテッド・キャッシュ・フロー)方式、類似会社比較方式、修正簿価純資産方式により評価を実施し、各評価結果を総合的に勘案し、交換比率を算定しました。当社の株式価値については、平成25年8月30日を算定基準日とし、基準日の東京証券取引所JASDAQ市場における当社株式の終値、並びに算定基準日までの直近1か月間及び3か月間の各取引日における終値平均値を算定の基礎としております。

当社は、当該算定結果を参考にゴールドボンドと慎重に交渉・協議を行い、上記の交換比率を決定し、平成25年9月10日付けで株式交換契約を締結いたしました。なお、株式交換比率については、算定の前提となる諸条件に重大な変更が生じた場合には、当事者間で協議の上、変更することがあります。

(2) 利益相反を回避するための措置

株式会社 CDG の取締役 7 名のうち、大平 孝はゴールドボンドの株主であることから、意思決定の公正性及び中立性を保つ観点から、CDG の取締役会における株式交換比率及び本株式交換契約締結に係る審議及び決議には参加していません。

4. 株式交換の当事会社の概要（平成 25 年 9 月 1 日現在）

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社																						
(1) 名 称	株式会社 CDG	株式会社ゴールドボンド																						
(2) 所 在 地	大阪府大阪市北区梅田二丁目 2 番 22 号	大阪府大阪市中央区谷町三丁目 4 番 5 号																						
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤井 勝典	代表取締役社長 寺澤 正文																						
(4) 事 業 内 容	マーケティング・コミュニケーションサービスの提供、顧客の営業活動全般におけるソリューションの立案・実施	地域特産品の商品開発、販売に関する業務																						
(5) 資 本 金	450 百万円	10 百万円																						
(6) 設 立 年 月 日	昭和 49 年 4 月 10 日	平成 18 年 3 月 15 日																						
(7) 発 行 済 株 式 数	6,240,000 株	200 株																						
(8) 決 算 期	3 月 31 日	2 月 28 日																						
(9) 大株主及び持株比率	<table border="0"> <tr> <td>藤井 勝典</td> <td>40.63%</td> </tr> <tr> <td>NOMURA PB NOMINEES TKI LIMITED</td> <td>10.35%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(常任代理人野村證券株式会社)</td> </tr> <tr> <td>株式会社 CDG</td> <td>5.93%</td> </tr> <tr> <td>株式会社伊予銀行</td> <td>4.47%</td> </tr> <tr> <td>CDG 社員持株会</td> <td>3.89%</td> </tr> <tr> <td>CDG 取引先持株会</td> <td>3.24%</td> </tr> <tr> <td>藤井 敦</td> <td>1.47%</td> </tr> <tr> <td>株式会社池田泉州銀行</td> <td>1.44%</td> </tr> <tr> <td>岸本 好人</td> <td>1.21%</td> </tr> <tr> <td>曾我部 憲昭</td> <td>1.14%</td> </tr> </table>	藤井 勝典	40.63%	NOMURA PB NOMINEES TKI LIMITED	10.35%	(常任代理人野村證券株式会社)		株式会社 CDG	5.93%	株式会社伊予銀行	4.47%	CDG 社員持株会	3.89%	CDG 取引先持株会	3.24%	藤井 敦	1.47%	株式会社池田泉州銀行	1.44%	岸本 好人	1.21%	曾我部 憲昭	1.14%	大平 孝 100%
藤井 勝典	40.63%																							
NOMURA PB NOMINEES TKI LIMITED	10.35%																							
(常任代理人野村證券株式会社)																								
株式会社 CDG	5.93%																							
株式会社伊予銀行	4.47%																							
CDG 社員持株会	3.89%																							
CDG 取引先持株会	3.24%																							
藤井 敦	1.47%																							
株式会社池田泉州銀行	1.44%																							
岸本 好人	1.21%																							
曾我部 憲昭	1.14%																							
(10) 当事会社間の関係	<table border="1"> <tr> <td>資 本 関 係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>人 的 関 係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>取 引 関 係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況</td> <td>当社の取締役である大平 孝がゴールドボンドの議決権を 100%所有しているため、関連当事者に該当いたします。</td> </tr> </table>		資 本 関 係	該当事項はありません。	人 的 関 係	該当事項はありません。	取 引 関 係	該当事項はありません。	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当社の取締役である大平 孝がゴールドボンドの議決権を 100%所有しているため、関連当事者に該当いたします。														
資 本 関 係	該当事項はありません。																							
人 的 関 係	該当事項はありません。																							
取 引 関 係	該当事項はありません。																							
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当社の取締役である大平 孝がゴールドボンドの議決権を 100%所有しているため、関連当事者に該当いたします。																							
(11) 直前事業年度の経営成績及び財政状態	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当社（連結）</th> <th>ゴールドボンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決 算 期</td> <td>平成 25 年 3 月期</td> <td>平成 25 年 2 月期</td> </tr> <tr> <td>純 資 産</td> <td>3,522 百万円</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>総 資 産</td> <td>5,598 百万円</td> <td>42 百万円</td> </tr> <tr> <td>1 株 当 たり 純 資 産</td> <td>600.04 円</td> <td>151,063.82 円</td> </tr> </tbody> </table>			当社（連結）	ゴールドボンド	決 算 期	平成 25 年 3 月期	平成 25 年 2 月期	純 資 産	3,522 百万円	30 百万円	総 資 産	5,598 百万円	42 百万円	1 株 当 たり 純 資 産	600.04 円	151,063.82 円							
	当社（連結）	ゴールドボンド																						
決 算 期	平成 25 年 3 月期	平成 25 年 2 月期																						
純 資 産	3,522 百万円	30 百万円																						
総 資 産	5,598 百万円	42 百万円																						
1 株 当 たり 純 資 産	600.04 円	151,063.82 円																						

売 上 高	9,239 百万円	136 百万円
営 業 利 益	652 百万円	8 百万円
経 常 利 益	660 百万円	12 百万円
当 期 純 利 益	395 百万円	9 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	66.86 円	45,291.63 円

※ 当社の大株主及び持株比率は、平成 25 年 3 月 31 日時点の株主及び持株比率を記載しております。

5. 株式交換後の状況

本株式交換後の当社の名称、事業内容、本店所在地、代表者、資本金及び決算期の変更はありません。

6. 今後の見通し

本株式交換が当社の業績に与える影響は軽微であります。

以 上